



心を育む言葉の育ち

学校法人内丸学園 理事長 坂本 洋

「冬来たりなば春遠からじ」を
実感する盛岡。ようやく陽春の兆
し幼稚園の子ども達の活動から一
段と成長を感じる日々です。から
だの育ちもそうですが、特に年長
組の互いに談笑する表情や会話を
耳にして、しっかりと心の育ちも成
長していると感じます。

私も幼稚園では、心の育ちに
大きな指導力点を置いております
が、その根底は言葉の育ちが大き
くかかっていると感じています。

幼稚園教育要領の 5 領域の指導
計画を重視しますが、本日はくだ
いようですが言葉の領域で培う日
頃の取り組みを述べたいと思いま
す。

この領域の指導観点は、①話す・
聞くこと、②知識及び技能、③読
むこと、④書くことですが、三歳
児から五歳児までの子ども達に
は、年齢発達差に応じた①をとて
も大事に取り組みます。先生やお
友達の言葉や話に興味や関心を持
ち、親しみをもって聞いたり、話
したりする。したり、見たり、聞
いたり感じたりしたことを自分な
りに言葉で表現する。したいこと、
してほしいことを言葉で表現した
り、わからないことを聞いたりす
る。親しみをもって日常のあいさ
つをする。②は、遊びや生活の中
で必要な言葉が分かり、使う。生
活の中で言葉の楽しさや美しさに
気づく。いろいろな遊び体験を通

して言葉を豊かにする。そして③
は、絵本や物語に親しみ、興味を
もって聞き、イメージや想像を豊
かにする。④書くことは、文字な
どへの興味をもち書くことで伝え
る楽しさを味わう。特に③は各ク
ラスとも毎日、読み聞かせは日課
になっており子ども達も楽しみに
している時間です。

さて心の育ちですが、三つ子の
魂百までもいわれております
が、近年では非認知能力・社会的
情緒的力がその土台と認知され
ています。例えば、何かに熱中し
て夢中になつていいる姿、やり遂げ
る姿・忍耐、意欲、自己効力感、
信頼、共感、協調性、自尊心等の
数量化、数値化できない内面の力
が心の育ちとして大切であり、し
かもその育ちは六歳頃までが最も
良く育つという科学的実証も報告
され注視されています。

その育ちの根底は、乳児期の養
育者との愛着心の形成や基本的信
頼感の育ちがしっかりとしていなけ
ればならないのですが、私ども
日々の保育環境からは子ども達の
他者との関係を作るコミュニケーション
シヨン力の育ちが大きくかわり
ます。5 領域としての「人間関係」

です。そこには、自分、人とのか
かり、仲間という三つの観点が
あり、発達年齢に応じた充実感が
育たなければなりません。各クラ
ス担任とも日々の指導計画に従い
実施しておりますが、そのツール
である、伝えることば力、感じる
ことば力、そして考えることば力
の育ちが大きくかわっているこ
とを重視しております。

冒頭の年長児の活動にその成長
を感じますが、日頃の保育者のか
わりや言葉かけが重要で、当園
では必ず、子どもの声には応える、
子どもの思いに共感する、子ども
の育ちには発達差がありそれに合
わせて言葉かけ、応えることを基
本にしております。保護者の皆様
ご家庭でもそのかわりをご参考
にして頂ければ幸いです。



卒園・進級おめでとう

卒業おめでとう！

Aクラス担任 齋藤 由紀乃

卒業式へ近づいていく日々、淋しい気持ちもありますが、それ以上に子ども達が新たなステージへと旅立ることへの嬉しい気持ちでいっぱいです。

今年度も様々な場面で、思い通りにはいかない一年でしたが、子ども達の何事にもまっすぐに向かっていく姿は、とても輝いていました。一息つく間もなく、次々に行事へ取り組む日々は、年長ならではです。毎日取り組むことに対して弱音を吐く子どもなく、「Aクラスだけがでるんだよね」と特別感を感じながらも、全力で楽しむ姿や継続して取り組めるところに、年長児としての成長を感じました。たくさんの行事を経験するたびに、みんなで取り組む楽しさや、頑張った先の達成感を経験することができました。たくさんの瞬間を私達も一緒に味わうことができて、本当に嬉しく思います。様々な思い出と共に卒業を迎え



「これからもずっと友達☆」

ることができたのも、温かく見守り支えてくださった保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。様々なことに興味をもち、挑戦してみようとする力をもっているAクラスみんな。マスク生活の日々でしたが、マスク越しでも分かるみんなの可愛い笑顔に日々癒されていました。幼稚園での思い出を宝物にして、学校生活でも『自信をもって！自分らしく！』楽しんでほしいと思います。みんなのことをこれからも応援しています！

みんなと一緒に

Bクラス担任 村松 千尋

季節も少しずつ冬から春に移り変わり、もうすぐ進級ですね。先月、朝の集まりで立春について話をする、「もう春なの？」「水色バッジになるね！」「えー！早い！」と、驚きつつも嬉しそうに顔を見合わせていた子ども達。新学期の頃を思い返すと、一人一人の姿から確かな成長を感じる日々です。

行事や活動、遊びを通して、友達の良いさ、みんなで過ごす楽しさを感じ、経験できるようにとスタートしたBクラス。その中で、みんなと一緒に遊ぶことは大好きだけれど、思いを言葉で伝えること、相手を受け入れることが難しく、友達同士ぶつかることもたくさんありました。最初は先生が代弁していましたが、徐々に自分の言葉で伝えたり友達の気持ちを考えていることができるようになってきました。相手がいるから、集団だからこそその経験が個々



劇遊び「三匹のこぶた」

の育ちや思いやりの心にも繋がっているように思います。三学期には、劇遊び『三匹のこぶた』を誕生会で発表することになり、同じ役の友達となりきって表現したりセリフのやり取りを楽しんだり、みんなと一緒に一つのことへ向かい、取り組む良い機会となりました。達成感を味わい、またひとつ大きくなった子ども達がいっしょに仲間と支え合い、自分の力を発揮していけるよう願っています！保護者の方々には日頃よりご理解ご協力を頂き、感謝しております。一年間ありがとうございました。

お友達と一緒に！

Ｃクラス担任 坂本 千夏

四月の入園式…ドキドキのスタートから一年が過ぎようとしています。四月当初は初めての集団生活に戸惑い遊びだせない子、先生や友達と一緒に遊びたいのに遠慮して見ている子…そんな子ども達も今では友達と一緒に遊ぶことが大好きです！

赤バッチの子ども達は楽しいことが大好き！ごっこ遊びでは友達同士で「今日は私がお姉ちゃんね！」などと話し合い好きな役になりきって遊んでいます。友達の「今日はみんなで映画を見に行こう！」の一言で椅子を並べ、段ボールの仕切りにキャラクターのハンカチをつけ、保育室の一角を映画館に！他の子も「何々？」とワクワクしながら集まってきました。いつの間にか遊びの輪が広がり、気付いたらみんなで映画館ごっこをしていました。自分のイメージや思いを言葉にして伝えあい、形にして遊ぶ子ども達の姿に成長を感じた瞬間でした。一学期は何でも「先生と一緒に」でしたが、今では「お友達と一緒に」が増えて、

現在の子どもの姿に繋がっているのだと感じています。

日々成長し、新たな表情を見せる子ども達との毎日は、私にとっても楽しい時間でした。もうすぐ進級です。保護者の皆様には、ご理解ご協力を頂き感謝しております。Bクラスでさらに成長するみんなのことを応援しています！

Ｃクラス、楽しかったね！

Ｃクラス担任 石田 雪乃

黄色バッチのみんなは好奇心豊か！大好きな友達と一緒に日々発見しながら楽しんでいきます。中でも、なりきって遊ぶことがお気に入り。振り返ってみると、プリン



「めざせ、金メダル！」「がんばれ～！」

セスに消防士、宇宙人、オリンピック選手など…、いろいろなものに変身していました。いつもみんなのヒラメキで遊びがどんどん広がっていきのが私も楽しみでした。先日はクラスみんなで動物になりきって劇ごっこをしました。

「うんとこしょよ！」と力いっぱい引つ張ったり、美味しそうにパンケーキを頬張ったりする姿がとても可愛く、頼もしく…(笑)黄色バッチらしい姿を赤バッチにも堂々と披露することができました。

大好きな友達と過ごす中で、もちろん楽しいことだけでなく、時には怒ったり、泣いたりしたこともありましたが、そのケンカを通して友達の思いに気づいたり、自分の言葉で気持ちを伝えようとしていたり、心も大きく成長した一年だったと感じています。

4月は不安と緊張でいっぱいだったみんなも、今ではもうBクラスになる準備はできているようです。たくさんのはじめてを一步一步乗り越えてきたみんなのパワーが、次のクラスにもつながるよう応援しています。最後になりましたが、日々の園生活において保護者の皆様のご理解とご協力を

心から感謝致します。

大きくなったね！

ふたばクラス担任 相原 恵津子

現在0歳児は9名での小さな集団の中で、毎日元気に過ごしています。慣れない環境の中で、不安な姿で過ごすこともありましたが、今では先生や友だちとのかわりの中で、たくさん笑顔が見られています。

0歳児にとって、この集団生活は、大好きなお家の方と離れる最初の一步となります。お家の人以外に出会う私たちの役割・存在の大切さを改めて感じています。入園して最初の頃は、先生に抱っこ



みんなでお祈り「天のお父様…」

やおんぶをされながら、信頼関係や愛着関係を築いていきます。そして徐々に、慣れてくると周りに目が向くようになり、周囲の友だちにも興味を示す子が増えてきました。親しみをこめて近づいてみたり、名前を呼ぶ姿もあり、子どもの育ちを感じる瞬間です。小さな子ども達ですが、その体と心の中に、毎日たくさんさんの刺激と関わりがあることを感じています。もうすぐつぼみクラスへと進級するふたばクラス。また新たな環境の中で過ごすこととなります。これからも、園生活の中での様々な経験をを通して、更に成長していく子ども達。その姿を身近で見られる幸せを感じ、今後も見守っていきたいと思います。

保護者の方から

保育部で過ごした2年間
いちごクラス 及川かおり(慶悟)

つぼみクラスからスタートした保育部での2年間はあつという間に過ぎ、気が付けば4月から幼稚園部に進級となりました。ちょうど入園した年に新型コロナウイル

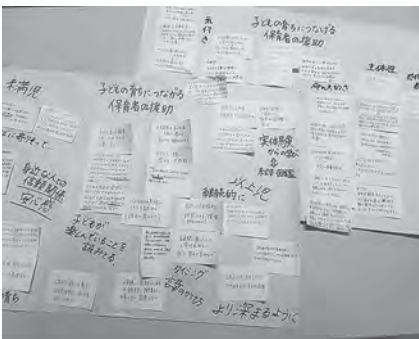
ス感染症が流行し始めたので、新しい生活様式と平行して保育部での生活がスタートしました。以前よりも負担と不安が多い生活になったのにも関わらず、毎日スムーズに送り迎えすることができ、不安もなく登園させていただけているのは、先生方が様々な工夫や対策をしてくださっていることだけでなく、我々保護者への配慮も沢山していただいているおかげだと思っております。いつも本当にありがとうございます。

息子の成長からも充実した園生活を十分に感じる事ができています。入園当初は「元気」という言葉では収まらない、あふれ出る落ち着きのなさがあつた息子ですが、少しずつ確実に成長しているのが見てとれます。先生やお友達とのやり取り、園での生活からこそ学べる事が沢山あるのだと感じます。息子の成長を見ていて、私自身が育児について考えさせられることや学ぶことも多く、一緒に成長できていることもうれしく思います。4月からの幼稚園生活も楽しみにしています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

園内研修での学び合っ

私たちは、保育の質の向上を目指し、毎月園内研修の機会を設けています。コロナ禍でリモートでの外部研修も増えていますが、職員みんなで子ども達のエピソードから育ちを読みとり、意見を出し合う機会を大切にしています。

今年度は、幼児期の終わりまで入学までに育ってほしい10の姿(小学校入学までに育ってほしい10の姿)から、『自然との関わり・生命の尊重』について特に理解を深めてきました。様々な環境や実体験を通して、子ども達が何を感し、何を学ぶのか、私たち保育教諭の関わりが重要であると考えています。



「付箋を使ってワークショップ」

編集後記

春の訪れと共に一年間の締めくくりに迎える。今年度もコロナ関係の状況に一喜一憂する一年でした。マスク着用・消毒が日常化し、これまでの生活に変化を感じつつも毎日の園生活を楽しんでる子ども達の姿が私たちの励みとなりました。子ども達の園生活の中で経験を保障し安全に行うために、これまでと違う保育のやり方に対して保護者の皆様にご理解とご協力を頂きました。感謝申し上げます。暦の上では3月。旧暦では弥生「いよいよ生い茂る」という意味があります。盛岡幼稚園を巣立っていく子ども達、そして進級する子ども達の新しい生活が光に満ちて明るく照らされることを祈り願っております。

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒020-0001
盛岡市中央通一六―四七
TEL 六二二―二三〇一
理事長 坂本 洋